



AIDS UPDATE

No.141 2024/4/30



発行者：広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351

HIV陽性者と歯科疾患について

～ どうして口腔内の清潔が必要なの？ ～



穏やかな春が過ぎて、初夏に入ろうとしています。皆さま、新年度の始まりはいかがでしょう。今も継続しておいそがしい方も多いと思います。今号は、もうすぐ【歯と口の健康習慣(6月4日～10日)】も近づくということで、HIV疾患患者さんの口腔ケアについて改めて学ぶ機会を設けてみました。今回、広島大学病院の歯科衛生士の岡田さんと川越さんにお話を伺いましたのでご紹介します。



患者さんは、歯科診療への関心について、どの程度お持ちなのでしょう？

HIV陽性者に向けたwebアンケート調査である Futures Japanの第2回の調査(n=1,038人)によると、かかりつけ歯科がある方は全体の46%、ない方は54%という結果が出ています。そして、かかりつけ歯科が無いと回答した方内、歯科治療が必要と思う方は65%という高い関心が寄せられています。



HIV陽性者への歯科診療の必要性について教えてください。

当院歯科でHIV陽性者のCD4数が歯周基本治療の効果に及ぼす影響を調査した結果、HIVの治療(ART)を受けている患者において、初診時(歯周基本治療開始前)のCD4数が多いほど効果が高いことがわかりました。

また、抗HIV薬の中には副作用で唾液分泌量が減少するものがあります。口腔乾燥は口腔環境を悪化させる要因になるため、口腔健康のためには、定期的な歯科健診が必要です。



広島大学病院では、HIV陽性者への歯科診療に対してどのような取り組みをしていますか？

当院では、血液内科を初診で受診される患者さんに対して、さまざまな職種が面談をしています。HIV診療過程の中で、歯科が面談を行うことについては、専任の看護師が患者さんに説明しています。

その中で歯科衛生士は、患者さんの希望に合わせた歯科受診の支援を行っています。当院の歯科受診を希望される方には、医科から歯科へ院内紹介していただき、地域の歯科受診を希望される方には、広島県歯科医師会と連携して、受診先をご紹介しています。



広島県にはHIV陽性者が安心して地域歯科で治療が受けられるように、歯科医院をご紹介できる【歯科診療ネットワーク】がありますよね？広島大学病院から地域への移行について、現状はどうですか？

過去の実績は以下の通りです。

令和3年度 相談件数:5件 紹介件数:4件

令和4年度 相談件数:8件 紹介件数:8件

令和5年度 相談件数:11件 紹介件数:6件

相談したものの、患者さんがやはり同じ歯科を受診することにした場合もあるため、相談件数と紹介件数に差が生じています。



歯科治療が中断してしまう背景などはあるのでしょうか？

当院では、多くの方が継続して通院されています。歯科受診のご経験がなかった方が、前述した歯科受診の支援をきっかけに当院の歯科を受診し、治療を終えたあとも定期的なメンテナンスに通院されているケースもあります。

中には、引っ越しや就職など生活環境の変化で中断になるケースもありますが、それはHIV陽性者の方に限った話ではありません。



最後に。歯科診療で患者さんに携わられてきて、良かったと思われる時はどんな時ですか？

口腔疾患は自覚症状がないケースもあります。また、「歯磨きのときに血がでる」「口臭が気になる」など、なんとなく気になっているけど歯科受診できていない方もおられます。

多職種と連携することで、歯科治療が必要な患者さんを見逃さず歯科受診につなげることができ、口腔健康のお力になれたときに良かったと思います。



エイズ医療対策室

COVID-19が全世界に広まる前から日本に住む外国籍の人口は増加傾向でしたが、COVID-19で減少していました。ですが、現在、技能実習生の受入れが再開したこともあり、在日外国人数は再び増加しています。また、最近の円安で訪日外国人は日に日に増すばかりです。本院においても、外国籍患者さんからのHIV治療に関するお問い合わせが多くなってきています。

そこでぶつかるのが“言語の壁”です。翻訳機や翻訳アプリを活用しますが、細かい部分まで説明するには時間を要します。



エイズ医療対策室では、より多くの患者さんに均一な情報が提供できるように、説明文書の多言語化に取り組んでいます。第1弾として、前号のAIDS UPDATEでご紹介した“初診患者さんへのオリエンテーション資料”である【外来受診をされる方へ】を準備しました。

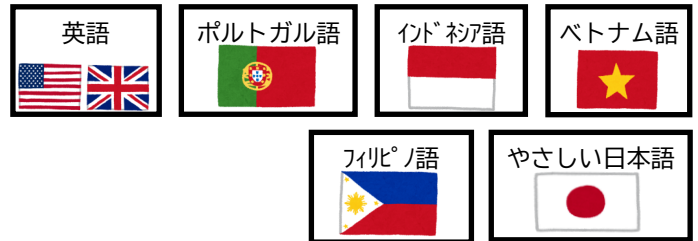
この度、第2弾として以下の2つを準備しました。今回の資料はホームページから閲覧できるので、全国に情報を発信することができます。ぜひ、ご活用いただけますと幸いです。

①中四国エイズセンター:ホームページ



従来は英語のみ対応していましたが、この度ポルトガル語とインドネシア語の翻訳に取り組みました。ホームページでは、HIVとAIDSの違いや、抗HIV薬の作用や飲み合わせが悪い薬、保険制度について多くの情報をお届けしています。また、血液や体液等の曝露後のHIV感染予防であるPEPについても、本院での処方までの流れや問合せ方法について記載しています。言語については、今後も随時増やしていく予定です。

②社会福祉制度の説明ツール



高額な薬剤費が発生するHIV治療においては、医療費助成制度の利用が必須です。ですが、制度を理解いただき、安心して利用できる説明を行う多言語の資料がありませんでした。制度説明業務を担うソーシャルワーカーさんからも、毎回困っているという声を多く耳にしました。この度、その制度説明を多言語で準備しましたので、全国のソーシャルワーカーさんに活用していただけますと幸いです。

エイズワーキングのご紹介

こんにちは、エイズワーキンググループです。私たちは、HIV/AIDS診療に関わる看護師が、課外活動として有志で活動しているグループです。

今年度は18名での活動スタートとなりました。HIV/AIDSに関する最新情報をもとに知識を深めたり、看護実践能力を高めることを目的に、自分たちのペースで活動をしています。今年度は、研修協力および自分たちの興味のあるテーマで勉強会を開催する予定です。新しいメンバーも随時募集中です。是非、一度定例会を覗きにいらっやいませんか？



<定例会> 日付：6月・9月・12月・2月の第2木曜日
時間：17:30~18:30
場所：臨床管理棟2階 カンファレンスルーム201

HIV診療スタッフミーティングのご紹介

広島大学病院のHIV診療チームは、医師（血液内科・総合診療科・感染症科・歯科）・看護師・薬剤師・歯科衛生士・心理師・ソーシャルワーカー等で構成された、HIV感染症患者さんのための支援チームです。

毎月第2・4火曜日の15:30~16:15に、多職種が参加して『HIV診療スタッフミーティング』を開催しています。身体的、精神的、そして社会的な問題を抱える患者さんの現状を共有し、今後の支援方法を検討しています。積み重ねてきたチーム力が自慢です!!

広島大学病院2024年度HIV診療チーム



新加入メンバーのご紹介

9階西病棟 師長 下川 直美

しもかわ なおみ



この4月より9階西病棟に異動となり、17年ぶりにHIV診療に関わる現場に戻ってまいりました。当時と比べると、治療も随分と進化しており、日々新たな発見があります。

これから、更に新しい知識を深めて、AIDS患者さんやHIV感染者の皆さんが、安心して療養できる環境を提供できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

I 外来 看護師 福嶋 琴美

ふくしま ことみ



2024年3月よりHIV診療チームに加わりました。今まで病棟・外来では主に外科領域を担当していました。HIV診療に関しては初めての領域で分からない事も沢山ありますが、皆様の支援を得ながら日々自己研鑽し、少しでも多くの患者さんの支えとなれるように頑張りたいと思っております。

HIV診療に携わるようになって驚いた事は、チームの皆様の知識・情報の豊富さと患者さんへのきめ細やかな対応、そしてチーム体制の充実さです。多くの職種が関わりながら患者さんに合わせて必要な治療・看護・生活支援をそれぞれの専門性を活かして提供し、チーム全体で情報共有して次に繋げていく事は全ての医療において当たり前の事かもしれませんが、その充実さに改めてチーム医療の大切さを実感しました。自分もその一員として関わられる事を誇りに思い、今後活躍していけるよう精進して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

エイズ医療対策室 心理師 黄 寛美

こう ひろみ



この4月よりエイズ医療対策室のリサーチレジデント、臨床心理士としてメンバーに加わりました。昨年度まで派遣カウンセラーとして週1回、エイズ医療対策室に在籍しておりましたので、AIDS UPDATEで二度目の自己紹介となります。さかのぼってみると、2017年と年号が令和に変わる前でした。「これは同じ自己紹介をしても気づかれないのでは…?」と悪い心がささやいたのですが、「さすがに社会人としてダメだろう」と良心が勝ちました。

私は派遣カウンセラーになる前から、福祉領域である放課後等デイサービスで発達障害を抱える児童、主に中高生を対象とした療育に長く携わっていました。療育とは、障害のある児童やその可能性のある児童に対し、個々の発達の状態や障害特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指し支援をすることを指します。医療領域で人と関わっていく中でも、「困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指し支援をする」という点は重なる部分ではないかなと思っております。改めて、これからもよろしくお願いいたします。



令和6年度中国四国ブロックHIV研修会・会議スケジュール

お問い合わせ：広島大学病院エイズ医療対策室・広島県臨床心理士会

TEL&FAX：082-257-5351(直通)

中四国エイズセンターホームページ：<http://www.aids-chushi.or.jp/>

詳しい研修会・会議のご案内は中四国エイズセンターホームページをご覧ください。



作成日：令和6年5月1日

事務局：広島大学病院エイズ医療対策室

医師 <small>日本エイズ学会 認定研修会</small>	令和6年8月19日(月)・20日(火) 会場：広島大学病院(広島市) 2024年度中国四国地方エイズ診療医師のための研修会(1回目)
	令和6年9月9日(月)・10日(火) 会場：広島大学病院(広島市) 2024年度中国四国地方エイズ診療医師のための研修会(2回目)
歯科医師 歯科衛生士	令和6年11月10日(日) 会場：岡山国際交流センター(岡山市) 第15回中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議
	令和6年12月8日(日) 会場：未定 令和6年度広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する講習会
薬剤師 <small>日本病院薬剤師会 認定研修会</small>	令和6年9月15日(日)・16日(月・祝) 会場：広島市文化交流会館(広島市) 第43回薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会 ※カウンセラー研修会と同時開催
看護師 <small>日本エイズ学会 認定研修会</small>	令和6年6月27日(木)・28日(金) 会場：広島大学病院(広島市) 2024年度 第1回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	令和6年7月25日(木)・26日(金) 会場：広島大学病院(広島市) 2024年度 第2回看護師のためのエイズ診療従事者研修
	未定 オンライン 2024年度看護師のためのエイズ診療従事者研修 事例検討会
	令和6年10月26日(土) オンライン 令和6年度中国・四国ブロックエイズ治療ブロック/中核拠点病院看護担当者会議
ソーシャル ワーカー	令和6年8月31日(土)・9月1日(日) 会場：高知共済会館(高知市) 令和6年度HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議、研修会

事務局：広島県臨床心理士会(広島大学病院エイズ医療対策室内)

心理職 福祉職	令和6年9月15日(日)・16日(月・祝) 会場：広島市文化交流会館(広島市) 令和6年度第1回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会 ※薬剤師研修会と同時開催
心理職	令和7年2月23日(日) 会場：サンポートホール高松(高松市) 令和6年度第2回HIV/AIDS専門カウンセラー研修会
	未定 令和6年度中国四国ブロックエイズ治療中核拠点病院 HIVカウンセラー連絡会議
医師、保健師 心理職など	令和6年7月5日(金) 会場：エールエールA館(広島市) 令和6年度HIV抗体検査相談従事者のためのカウンセリング研修会
全職種 <small>日本エイズ学会・ 日本病院薬剤師会 認定研修会</small>	令和7年1月11日(土)・12日(日) 会場：アークホテル岡山(岡山市) 令和6年度包括的HIVカウンセリング研修会